

ミスミグループ本社 2018年3月期 第2四半期 連結業績

～ 半期決算として過去最高の売上高・利益を更新 ～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2018年3月期 第2四半期累計期間（2017年4月1日～2017年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	増減率
売上高	121,802	152,465	+25.2%
のれん等償却前 営業利益 ※	14,416	20,074	+39.2%
営業利益	13,295	18,902	+42.2%
純利益	8,350	13,040	+56.2%
1株当たり純利益	30.42円	46.63円	

※ Dayton Lamina Corporation 買収にかかるのれん・その他無形固定資産の償却前営業利益

<2018年3月期 第2四半期累計期間の連結業績ハイライト>

1. 国内の販売堅調に加え、海外では中国、アジアの高伸長が寄与し、連結売上高は、対前年同期比 25.2%（現地通貨ベース 22.7%）の大幅増収を達成

- 2018年3月期第2四半期累計期間の世界経済および日本経済は、全体として緩やかな回復基調が続きました。アメリカでは雇用者数、設備投資などが緩やかに増加するなど景気の回復傾向が継続しました。中国では消費の伸びは横ばいながらも各種政策効果などにより景気持ち直しの動きが継続、その他のアジア各国および欧州においても緩やかな景気回復が続きました。また、日本でも個人消費や設備投資は引き続き堅調に推移し、企業収益や雇用情勢が改善しました。

このような環境において当社グループは、メーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の非効率を解消することで世界の製造業に貢献し、同時に事業拡大を加速させています。ITを核とした新たなものづくりに応えるため、引き続きウェブ戦略を推進し競争力を強化しました。また、海外においては、最適調達を目的とした現地生産・現地調達を推進し、あわせて物流拠点を拡張するなど、グローバル確実短納期体制の強化に努めました。

- こうした体制強化等により、事業別には、FA事業および金型部品事業では自動車業界やエレクトロニクス業界などの旺盛な需要を取り込み、VONA事業では品揃えの強化などによって国内において大きく伸長したことに加え、国際展開の推進により海外売上高も伸長し、連結売上高の拡大に寄与しました。

- こうした結果、連結売上高は1,524億円、前年同期比で25.2%（現地通貨ベース22.7%）の増収となりました。利益につきましては、営業利益は189億円（前年同期比+42.2%）、経常利益は186億円（前年同期比+42.0%）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は130億円（前年同期比+56.2%）となりました。半期決算として、売上高、利益とも過去最高を更新しました。

2. 全セグメントで高成長を継続

- 2018年3月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2017年3月期 第2四半期累計	2018年3月期 第2四半期累計	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	40,011	51,731	+29.3%	+26.9%
金型部品事業	32,980	38,692	+17.3%	+13.8%
VONA事業	48,810	62,041	+27.1%	+25.4%
合計	121,802	152,465	+25.2%	+22.7%

- FA事業は、旺盛な自動化需要を捉え、グローバルでQCT（高品質（Quality）、低コスト（Cost）、確実短納期（Time））を強化することにより、日本、中国、アジアの高伸長が業績を牽引し、前年同期比29.3%の増収となりました。
- 金型部品事業は、自動車およびエレクトロニクス関連の新規金型需要の獲得などで、中国、アジアにおける販売拡大が寄与した結果、前年同期比17.3%の増収となりました。
- VONA事業は、品揃えの強化などにより、国内業績の成長が持続したことに加え、中国、アジアの高成長も寄与し、前年同期比27.1%の増収となりました。

3. 海外売上高は、引き続き中国、アジアにおける成長が牽引

- 2018年3月期第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高（百万円）		増減率	
	2017年3月期 第2四半期	2018年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	66,782	79,289	+18.7%	—
海外	55,019	73,175	+33.0%	+27.6%
中国	20,427	29,121	+42.6%	+39.4%
アジア	14,253	20,690	+45.2%	+37.0%
アメリカ	12,237	13,318	+8.8%	+3.9%
ヨーロッパ	6,101	7,502	+23.0%	+15.8%
その他	1,998	2,542	+27.2%	+21.7%

- 日本では、自動化需要の取り込みやVONA事業での販売拡大などに努めた結果、前年同期比18.7%の増収となりました。
- 海外では、特に中国、アジアでの旺盛な自動化需要の取り込みが寄与して、前年同期比33.0%の大幅増収となりました。

4. 第2四半期末の配当金は11円52銭、前年比3円91銭増配

- 当社は、持続的成長と企業価値向上を実現するための経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上などを総合的に勘案し、株主還元方針を定めております。
- 配当に関しては、配当性向25%を基準に決定しておりますため、当第2四半期末の1株当たり配当金を11円52銭（前年比3円91銭増）とさせていただきます。
- 期末配当予想については、今回通期業績予想を修正いたしました結果、前回予想を4銭上回る10円47銭（前年比1円37銭増）に上方修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想	9円17銭	10円43銭	19円60銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%
今回修正予想	—	10円47銭	21円99銭
配当性向	—	25.0%	25.0%
当期実績	11円52銭	—	—
前期実績	7円61銭	9円10銭	16円71銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2018年3月期連結業績予想を修正

- 2018年3月期の通期連結業績予想については、2017年5月11日公表の業績予想から以下の通り上方修正いたします。
- なお、通期業績予想については、売上・利益ともに過去最高を更新する見通しです。

2018年3月期 連結業績予想（2017年4月1日～2018年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想（A）	290,000	31,700	31,100	21,600	78.39
今回予想（B）	314,000	36,350	35,750	24,900	89.04
増減（B-A）	+24,000	+4,650	+4,650	+3,300	—
増減率（%）	+8.3%	+14.7%	+15.0%	+15.3%	—
前期実績	259,015	27,127	26,462	18,387	66.94

【業績予想に関する留意事項】

この資料に掲載されている2018年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願い致します。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2018年3月期 第2四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
 株式会社ミスミグループ本社
 コーポレート・リレーション室 IR担当
 Tel：03-5805-7037 Fax：03-5805-7014
 mail：cc@misumi.co.jp